

告 辞

令和三年度、函館工業高等専門学校 第五十六回卒業証書授与式、および第十七回専攻科修了証書授与式を、無事開催することができました。保護者および関係者の皆様、ご協力を頂き、感謝申し上げます。

今年度は、本科卒業生が、外国人留学生三名を含め、百五十九名、専攻科修了生が、十三名であります。卒業生、修了生の皆さん、全ての教職員とともに、心よりお祝いを申し上げます。

卒業・修了、おめでとうございます。

これまで皆さんを、支え続けてこられた保護者の皆様方、心よりお慶び申し上げます。

皆さんにとって、この二年は、新型コロナウイルスの世界的な感染症拡大という、パンデミックの真只中でした。いまだ終息の兆しを見せてはいませんが、後世に語り継がれる、歴史的な時間を函館高専で過ごしたことになります。授業にも課外活動にも学生生活にも、また学生寮の生活にも、感染症対策が最優先でした。さまざまな制約のもとで学生生活を送ることになりました。皆さんはよく頑張ったことと思います。

コロナ禍でも「学生の学びを止めない」、

「高専教育の質を保証する」、との学校の方針のもと、この難局に立ち向かった、先生方の努力と使命感を、大いに労って頂きたいと思います。

おかげで皆さんは、オンラインやリモートによる授業や活動を通じて、ICTスキルそのものを学びました。これからの高度な情報化社会で生きる術の基本を身に付けました。

中学卒業後、工学の専門教育を五年間一貫で学び、実践的かつ創造的技術者に教育するところが、高等専門学校です。産業構造の変化やグローバル化の進展など、社会や経済の変遷を経てもなお、産業界のニーズに応える高度な技術者を養成する、高等専門学校への期待はますます高まっています。

ます。函館高専は、全国レベルの高専教育をここ函館の地で実践して来た学校です。

コロナ禍で大変な状況の中、皆さんは本科及び専攻科の教育課程を全てクリアし、函館工業高等専門学校を卒業・修了したわけです。皆さんは、見事に学校の期待に応えてくれました。函館高専で学んだことへの誇りと、確固たる自信を持ってもらいたいと思います。一所懸命勉強して身に付けた知識とスキルが、必ず皆さんの力になってくれ、そして皆さんを支えてくれます。

皆さんは、これまで多くの人に支えられ、そして助けられて、卒業・修了を迎えられました。ご家族や支えてくれた周りの方へのご恩や、愛情を決して忘れないようにして下さい

さい。また、たくさんの良い思い出を、周
りの友人と一緒に作る事ができました。
ここで得た友人は、かけがいのない一生の
財産です。これからもお互いに高め合い、
そして大切にして下さい。

これからの世界は、変化の激しい予測困
難な時代です。特にポストコロナの時代は、
高度な情報社会と重なります。ここで求め
られるのは、これまでとは大きく違った、
価値観や生活様式です。ダイバーシティ、
グローバルイノベーション、エスデージー
ズ（SDGs）、カーボンニュートラルと言っ
た時代のうねりの中で、バーチャルではな
い、新たな現実の時代を築くのは、まさに
皆さんです。

皆さんのこれからの活動には技術者として高度なインテグリティが求められます。インテグリティとは、あまり馴染みのない言葉と思いますが、簡単には「誠実さ」とも訳されます。正しくは、「正直さの実践と共に、高い道徳・倫理的な原則と価値観を持って一貫し、妥協なくそれらを遵守する振る舞い」のことを示す、深く広い意味の言葉です。

皆さんはこのインテグリティの姿勢を基本とし、必要となる知識・能力を自ら修得し、社会を支え、そして社会を切り拓く原動力となるよう、皆さんの活躍を大いに期待しています。

最後になりますが、本校、初代校長であ

る太秦康光先生が唱えた、本校の校訓、
「汝が夢を持って、大志を抱け、力強かれ」
この活力と希望に満ちた言葉を、本日改め
て卒業・修了する皆さんへの、はなむけの
言葉とし、告辞といたします。

令和四年三月十八日

函館工業高等専門学校長

但野 茂